



読み聞かせボランティアが選んだ
一度は読みたい絵本



寒さが一段と厳しくなり、冬本番といえる季節になりました。落ち着いてきたと思われた新型コロナウイルス感染症が拡がりを見せ、まだまだ心配な事が多い中、絵本を読んで少しでも気持ちを明るくして下さいね。

◎ **【カメレオンのかきごおりや】 谷口智則/作 アリス館**

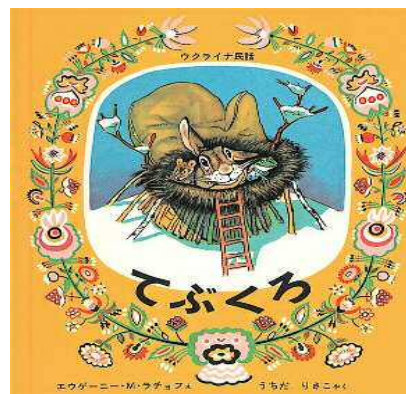
旅するかき氷屋のカメレオン。世界中で集めた色とりどりのシロップでサル、シロクマ、コアラ、ウサギ、ライオンを元気に。カメレオンは自分が何色なのか悩むが、氷を集めに出かけて大きな虹が。氷もカメレオンの体も虹色になって自信を取り戻すお話です。《読み聞かせボランティアあいあい》



◎ **【てぶくろ】 ウクライナ民話 エウゲーニー・M・**

ラチョフ/絵 うちだりさこ/訳 福音館書店

おじいさんが雪の降る森でてぶくろを片方落してそのまま行ってしまいました。てぶくろを見つけたねずみはこの中で暮らすことに。次にかえるがやってきて、うさぎがやってきて、次々と動物たちがやってきて、てぶくろのなかに入ろうとします。《読み聞かせボランティアおおきな木》



◎ **【あひるのたまご】 さとうわきこ/作 福音館書店**

ばばあちゃんが、お腹をかかえてベッドでじっとしています。みんなが心配してお見舞いを持ってかけつけるとなんとあひるのたまごを温めているのです。

《読み聞かせボランティアだるまさんの会》



ぜんぶ、川崎市立図書館に所蔵のある絵本です。貸出中でしたらごめんなさいね。大師図書館にない本は予約することもできますよ。大師図書館カウンターにお声をかけてください。
プラザ大師 044-266-3550